STARASIA
Investment Corporation

2021年10月15日

各　位

不動産投資信託証券発行者
スターアジア不動産投資法人
代表者名　執行役員　　加藤　篤志
（コード番号3468）
資産運用会社
スターアジア投資顧問株式会社
代表者名　代表取締役社長　　加藤　篤志
問合せ先
取締役兼財務管理部長　　菅野　顕子
TEL：03-5425-1340

資金の借入れ（借換え）に関するお知らせ

スターアジア不動産投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、本日、資金の借入れ（以下「本借入れ」といいます。）について決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．資金の借入れ

（１）　本借入れの内容（注1）

区分（注2）	借入先	借入金額	利率（注5）（注6）	借入実行日	借入方法	元本返済期日（注7）	返済方法	担保
長期	株式会社三井住友銀行及び株式会社みずほ銀行をアレンジャーとする協調融資団（注3）	3,785百万円	基準金利（日本円3ヶ月TIBOR）＋0.40%	2021年10月20日	株式会社三井住友銀行をエージェントとする2020年7月29日付の基本合意書に基づく2021年10月18日付締結予定の個別タームローン貸付契約に基づく借入れ	2024年10月21日	期限一括返済（注8）	無担保無保証
	株式会社三井住友銀行及び株式会社みずほ銀行をアレンジャーとする協調融資団（注4）	3,115百万円	基準金利（日本円3ヶ月TIBOR）＋0.60%			2026年10月20日		

（注1）　本借入れに関し金融機関が発行した検討結果通知書の記載に基づいて記載していますが、借入れに際しては、別途各金融機関による所定の審査手続きを経る必要があることから、実際に上記の内容で本借入れが行われることが保証されているものではありません。

（注2）　借入期間が1年以内の借入れを「短期」、1年超の借入れを「長期」と区分しています。以下同じです。

（注3）　協調融資団は、株式会社三井住友銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社新生銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社あおぞら銀行、株式会社りそな銀行、株式会社福岡銀行、みずほ信託銀行株式会社及び第一生命保険株式会社により組成されます。

（注4）　協調融資団は、株式会社三井住友銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社新生銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社あおぞら銀行、株式会社りそな銀行及びみずほ信託銀行株式会社により組成されます。

（注5）　借入先に支払われる融資手数料等は含まれていません。

（注6）　利払日は、初回を2021年10月29日とし、以降、3ヶ月毎末日及び元本返済期日とします。但し、同日が営業日でない場合は翌営業日とし、当該日が翌月となる場合には直前の営業日とします。変動金利

の借入れについて、利払日に支払う利息計算期間に適用する基準金利は、直前の利払日（但し、初回は借入実行日の2営業日前とします。）の2営業日前における午前11時（東京時間、以下同じです。）又は午前11時に可及的に近い午前11時以降の時点において一般社団法人全銀協TIBOR運営機関が公表する日本円TIBORのうち、3ヶ月の利率です。但し、利息計算期間に対応するレートが存在しない場合は、個別タームローン貸付契約に定められた方法に基づき算定される当該期間に対応する基準金利となります。基準金利である一般社団法人全銀協TIBOR運営機関が公表する日本円TIBORについては一般社団法人全銀協TIBOR運営機関のホームページ（http://www.jbatibor.or.jp/）でご確認ください。なお、本借入れについては、金利スワップ契約等による支払金利の固定化を検討します。

（注7） 元本返済期日は、同日が営業日でない場合は翌営業日とし、当該日が翌月となる場合には直前の営業日とします。

（注8） 本借入れの実行後元本返済期日までの間に、本投資法人が事前に書面で通知する等、一定の条件が成就した場合、本投資法人は、借入金の一部又は全部を期限前返済することができます。

（注9） 本借入れについて、資産・負債等に基づく一定の財務指標上の数値を維持すること等を規定した財務制限条項が設けられる見込みです。

（２） 本借入れの理由

2018年4月12日公表の「資金の借入れ及び返済に関するお知らせ」に記載の2021年10月20日に返済期限を迎える長期借入金7,300百万円の返済資金の一部（6,900百万円）に充当するためです（本借入れ及び当該既存借入金の返済を併せて、以下「本借換え」といいます。）。なお、既存借入金7,300百万円と本借入れ6,900万円の差額400百万円につきましては、2021年9月16日公表の「投資法人債の発行に関するお知らせ」に記載の投資法人債の発行により調達した資金で返済します。

本投資法人は、財務基盤の安定性向上のため、 本借入れについて、金利スワップ契約等による支払金利の固定化を検討します。

（３） 本借入れにより調達する資金の額、使途及び支出予定時期

① 調達する資金の額

合計 6,900百万円

② 調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期

具体的な使途	金額	支出予定時期
上記（２）に記載の既存借入金の返済に充当	6,900百万円	2021年10月20日

（４） 本借換え後の有利子負債の状況

（単位：百万円）

		本借換え前	本借換え後	増減
	短期借入金	―	―	―
	長期借入金	89,440	89,040	-400
借入金合計		89,440	89,040	-400
投資法人債		1,000	1,000	―
借入金及び投資法人債の合計		90,440	90,040	-400

２．今後の見通しについて

本借換えが運用状況に与える影響は軽微であり、2021年9月14日付「2021年7月期（2021年2月1日～2021年7月31日）の決算短信」にて本投資法人が公表しました2022年1月期（2021年8月1日～2022年1月31日）及び2022年7月期（2022年2月1日～2022年7月31日）の運用状況の予想に変更はありません。

３．その他投資者が当該情報を適切に理解・判断するために必要な事項

本借換えに関わるリスクに関して、2021 年 8 月 2 日に提出した有価証券届出書「第二部 参照情報／第 2 参照書類の補完情報／3 投資リスク」に記載の内容に変更はありません。

以上

＊ 本投資法人のホームページアドレス：http://starasia-reit.com